

NEW

WWWブラウザ Hot Line Vol.1

THIS MONTH'S TOP NEWS

『インターネットエクスプローラ 4.0
日本語正式版 for マッキントッシュ』ついに登場!!

楽しいバージョンアップ情報から、気になるセキュリティー問題まで、WWW ブラウザーの動向からは目が離せない。今月から始まったこのコーナーでは、インターネットエクスプローラとネットスケープコミュニケーターを中心にインターネットツールの最もホットなニュースをお届けする。

Macらしさにこだわった操作性

ついにMac用のIE 4.0日本語正式版がリリースされた。2月18日より開催されたMacワールドでの配布から入手可能になり、本誌CD-ROMにも早々と収録済み。最も注目すべき点は、ウィンドウズ版IEの単なる移植ではなく、Macユーザーの使い勝手を考慮した独自の工夫が随所になされているところだろう。マイクロソフト社によると、ウィンドウズ版とはまったく別のプロジェクトによって開発されたとのこと。

はたして、Macユーザーにとって新たな選択肢となりえるかどうか、まずはWWWブラウザの機能から見ていこう。

Mac版IEはここがすごい

1 Win版同様のHTML対応

Mac版の登場で最も重要なポイントは、なんといってもHTMLの対応だ。カスケーディングスタイルシートをはじめ、マージンサイズの調整、表拡張タグ、フローティングフレームなど、ウィンドウズ版とほぼ同様のページ表現力を持つことになった。

ただし、残念ながらVBスクリプトを使ったダイナミックHTMLには未対応。アクティブチャンネル機能が搭載されただけに、一日も早く改善されることを期待したい。

2 好みに選べるインターフェイス

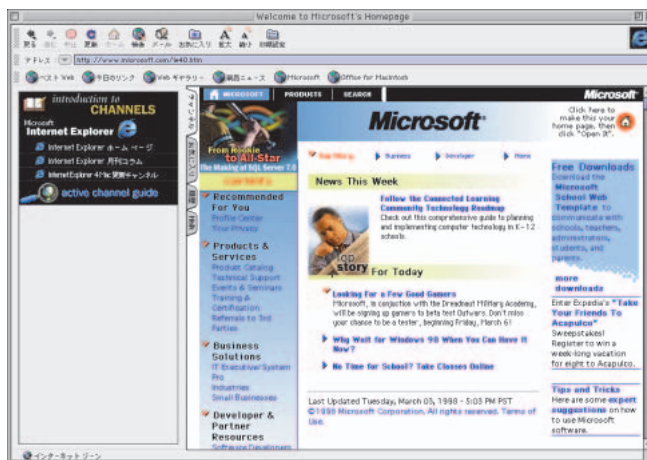
ツールバーに文字を表示するかどうか、アドレスバーやお気に入りバーを表示するかどうかなど、細かな設定に加えて、Macユーザーにはうれしい「Netscape互換」というインターフェイスが用意されている。これを選べば、ツールバーのボタンがネットスケープナビゲーターと同様のデザインと配置になる。ほかにも、IEマークが嫌いなユーザー向けに「e」を「回転する地球」マークに変更する機能を用意するなど、思わず笑ってしまうような配慮も見逃せない。

3 手軽に設定できる「購読」機能

好きなページをダウンロードしておき、オフラインで読めるようにする「購読」機能は、ウィンドウズ版と比べてはるかに設定が簡単になっている。操作は「お気に入り」タブに表示される各ページのアイコンの左空白をクリックするだけ。もちろん、ページの更新も知らせてくれる。

4 Javaパーチャルマシンを選べる

Javaアプレットを動作させるかどうかだけでなく、コンピュータにインストールされ



米マイクロソフト社マック開発部門80人の手によって作られたIE4.0。最大の特徴は、ウィンドウズ版4.0よりも優れたマック版独自の機能を多く備えていること。

ているどのJavaバーチャルマシンを使うかを選ぶ。マイクロソフトとサンの間で訴訟にまで発展したJavaの互換性の問題も、この機能があれば回避できるはずだ。

5 有効なCookieの一覧が見られる
ウェブサイトによっては、アクセス状況などの情報を「Cookie」というファイルに記録してユーザーのコンピュータに保存している。「Cookieの設定」には、どのサイトからCookieを受信したかが一目でわかるように一覧が用意されている。また、ここから任意のCookieを削除することもできる。

電子メールの新定番「アウトルックエクスプレス」

IE 4.0に同梱される電子メールソフト「アウトルックエクスプレス」もなかなかよくできている。一般的な機能はもちろん、受信メールの高度な振り分けやメッセージの全文検索、階層構造でのフォルダー管理など現在考えられる機能はほとんど備えている。

Eudoraやネットスケープメッセンジャーに並ぶMacの定番電子メールソフトとなり得るが、今後のシェアに注目したい。

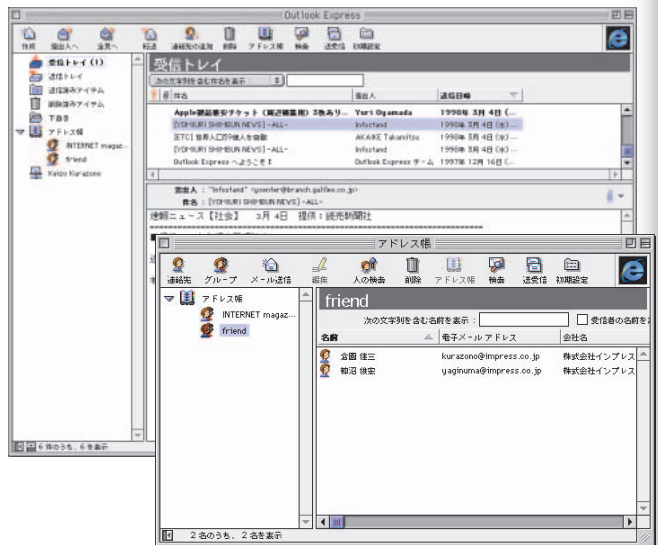
Mac版アウトルックエクスプレスはここがすごい

1 複数アカウントに対応

会社用、自宅用など複数のアカウントをいくつでも登録できる。さらに、アカウントごとに受信したメールをサーバーに残すかどうかなどの詳細を設定できる。加えて、アウトルックエクスプレスの起動時にパスワードを設定できるため、複数のユーザーで共有しているコンピュータでの使用も安心だ。

2 最新のトレンドにもしっかり対応

現時点ではなかなか実用の機会もないが、IMAP4、LDAPといった次世代の機能にもしっかり対応している。もちろん、HTMLメールの作成や送受信もでき、受け取ったメールがテキスト形式かHTML形式かを自動的に識別して、それと同じ方



メールソフト新定番の有力候補「アウトルックエクスプレス」。アカウント別のメールボックス管理や送信アドレスのオートコンプリートなど、最新機能が満載。

法で返信する機能もある。

3 他のメールソフトからの乗り換えもOK

Eudora、ネットスケープメッセンジャー、ネットスケープメール、インターネットメールアンドニュースのそれぞれのメッセージとアドレス帳をインポートできる。メールソフトの乗り換え対策も万全だ。

4 使いやすいアドレス帳

アドレス帳にはメールアドレスだけでなく、住所や電話番号、ホームページのURLなどさまざまな個人情報を記録しておく。また、送信先グループの作成も個人情報アイコンをドラッグアンドドロップするだけ。ここにもMacならではの操作性が盛り込まれている。

★★★コングレ「TOPICS!」★★★

ソースコードの公開をに向けて「mozilla.org」開設

ネットスケープ社によるコミュニケーター4.0の無償配布と、次期バージョン5.0のソースコードの公開は大きな話題になった。この発表に続いて、2月23日、公開したソースコードの開発促進や管理を行うための専任チームおよび、そのウェブサイト「mozilla.org」を開設した。今後、ソースコードの変更や配布に興味がある開発者の中心的な場として機能すること。

mozilla.orgのウェブサイトは、ソースコードのダウンロードや改訂版の発表、各種テーマのコラボレーションなど、さまざまな情報を共有するためのバーチャルコミュニティとしての役割を果たす予定。

mozilla.org

URL: <http://www.mozilla.org/>

IE 4.0 UNIX 版もリリース

マイクロソフト社は2月24日、IE 4.0のUNIX正式版をリリースした。プラットフォームはSolaris 2.5以降となっている。ウィンドウズ版と同様に、HTML 4.0、ダイナミックHTML、アクティブチャンネルなどに対応している。

これで、ウィンドウズ、マッキントッシュ、UNIXの3つのプラットフォームでIE 4.0が使えるようになったわけだが、Linux版やBSD版までサポートするネットスケープコミュニケーターに比べると、今回の発表がSolaris版のみとなったのは少々残念だ。今後の対応に期待したい。



CD-ROM 収録先
AMac Internet Explorer



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp